

# 世界史B 近現代 26中国とロシアの改革運動

## 1. 変法運動と義和団の乱

あいつぐ戦争の敗北→中体西用・洋務運動の限界

康有為❖a(1858~1927)・梁啓超(1873~1929)ら変法派知識人

→日本にならぬ立憲君主政導入, 民間産業による富国強兵=( )1**自強**=を主張

❖a---広東省出身。徹底した内政改革=立憲君主政の変法を唱えた。1911年辛亥革命後帰国。

1898年 光緒帝(位1875~1908)は康有為らの請願を採用し登用→改革を推進⇒**戊戌の変法**=議会制、学制改革など

西太后ら保守派のクーデタ→変法派政権は100日程で崩壊=( )2**の政変**

→光緒帝は幽閉・康有為らは日本に亡命 政治の実権は保守派がにぎる

民衆→専制政治への不満・列強への反感を強める

⇒ ㊦華中・華南中心にキリスト教排斥の運動=( )3**運動**=を展開

㊦華北の**山東省**❖bにもキリスト教に反対する( )4❖cが登場

❖b---ドイツは1897年膠州湾を占領、翌年租借して湾口の( )5を東洋艦隊基地とした。

❖c---貧農や失業した職人・運搬人夫などを中心に構成。列強の支配を打倒するためにたちあがる。民族運動の性格。

梅花拳という武術を修得していた集団が中心。キリスト教施設を攻撃。

1898年 「( )5**滅洋**」のスローガンをかかげた**義和団の乱**

1900年 北京に進出→列強の公使館にせまる

㊦列強が大沽砲台占領→( )7**も列強に宣戦を布告**

㊦日本とロシアを主力とする( )8**連合軍**が侵攻して北京を占領

㊦屈服した清朝は連合軍とともに義和団を鎮圧

1901年 [ ( )9**議定書** (辛丑和約)

㊦多額の**賠償金**=4億5千万両(39年賦。清朝崩壊後の中華民国にも負債)=と**外国軍の北京駐留**など

㊦国内における排外運動の禁止や取り締まり

→民衆運動のスローガンは「扶清滅洋」から「( )10**滅洋**」へ

## 2. ロシア第一革命

19世紀末に産業革命 工業化に( )11からの資金導入

体制の変革をめざす**ナロードニキ**の運動が失敗→( )12**主義運動**がさかんに

1898年 「**ロシア**( )13**党**」結成 プレハーノフ(1856~1918)❖d、レーニン(1870~1924)❖e

1901年 ( )14**党**(エス=エル)---ナロードニキの流れをくむ政党として結成

1903年 社会民主労働党大会 党が二つに分裂

㊦( )15--社会主義革命をめざす多数派。( )16の指導

㊦( )17--少数派。穏健改革。プレハーノフ、マルトフ(1873~1923)

❖d---タタールの世襲貴族の生まれ。1875年から革命運動に参加。80年亡命、82年「共産党宣言」をロシア語に翻訳。日露戦争で反戦を唱える。ロシアマルクス主義の父とされる。

❖e---ヴォルガ河畔ウリヤノフスク生まれ。本名ウラディミール・ウリヤノフ。父は物理学者、貴族。マルクス主義運動家としてシベリヤ流刑後スイスに亡命。1903年ロシア社会民主労働党を再建。左派ボリシェビキを指導。

ロシアの対外膨張---極東方面中心

ロシアの対外膨張---極東方面中心

ロシアの対外膨張---極東方面中心

1904年 ( )18**戦争**(1904~5)---国内では専制的な体制への批判が高揚

1905年1月22日「**血の**( )19**事件**」 →全ロシアストライキ

・サンクトペテルブルグの民衆デモへ軍の一斉射撃---死者1000人以上

・工場を母体とする選挙によって( )20=代表者会議=結成

・軍の兵士も蜂起--**戦艦**( )21=**黒海艦隊**=の水兵反乱。

・フィンランド、ポーランドでも蜂起。

→10月 皇帝( )22**二世**(位1894~1917) →十月宣言

自由主義的な首相**ウイッテ**❖f(任1905~06)の起草→**国会**=( )23**開設**を約束

→**ロシア第一革命**

❖f---グルジア生まれ。運輸、財務大臣としてシベリア鉄道、工業化を推進。日露開戦に反対して一旦解任。

1906年 第1回**ドゥーマ**❖g**選挙** **立憲民主党**(**カデット**)=自由主義勢力が勝利

首相( )24❖h(任1906~11)

㊦**農業改革**---農民が**共同体**(**ミール**)をはなれ、耕作してきた土地の私有を認める

→( )25=**クラーク**=の**育成**が目的→皇帝、国会の支持失う

㊦**戒厳令**・( )26**法廷**により革命運動を弾圧→**ツァリイズム**の復活

❖g---皇帝に助言する貴族会議がルーツ。一定の立法権は持つが、内閣の任命権や[ ]27の解散権は皇帝

が保持。1906年の第一回選挙では自由主義政党と社会主義政党が多数派を占めたが、数週間後に解散された。

1907年6月第二回国会も解散され、社民労働の議員を逮捕。

❖h---貴族。内務官僚。1906年内務大臣から首相。改革を行いつつ、多数の人々を処刑、弾圧。

【 ( )28 (ロシア語で「組織的虐殺, 略奪」の意味)

1881~84年( )29人に対する大規模な襲撃・虐殺(以後ロシア・東欧で繰り返される)

農民の土地不足や貧困などで深まっていた社会的不満→ユダヤ人に

→ロシアなどからアメリカ合衆国と**パレスティナ**へのユダヤ人移民運動❖i開始

❖i---( )30**運動**。ドレフュス事件のなか、1897年バーゼルで第一回会議。名称はイェルサレムの

「シオンの丘」から。



八カ国連合軍



血の日曜日



康有為



ニコライ2世



レーニン



ポグロムの犠牲者

- ・日露 ・清朝 ・北京 ・青島 ・仇教 ・掃清 ・扶清 ・変法 ・戊戌 ・富農 ・軍事 ・日曜日
- ・義和団 ・八カ国 ・社会革命 ・社会民主労働 ・ユダヤ ・ドゥーマ ・レーニン ・ニコライ
- ・マルクス ・ポグロム ・ソヴィエト ・フランス ・シオニズム ・ポチョムキン ・ストルイピン
- ・ボリシェヴィキ ・メンシェヴィキ